陳情第12号
企画文教委員会付託
令和５年５月31日

市議会議長
中野智基　殿

陳情書

[redacted]

「知立市人権尊重のまち宣言」の内容の一部再考を願う[redacted]陳情

陳情理由

最近、性的少数者へのLGBT理解増進法案を先進７か国首脳会談開幕前日に提出された法案を巡り国政レベルでの混乱が起きています。　他のG7国と違い、性的少数者に対する激しい差別のない日本社会にはLGBTや「性の多様性」という文言に込められたイデオロギーは馴染まない様です。

定義の曖昧な文言を含む法案は日本の将来に禍根を残す事となり、成立させてはならないと思います。　「性的指向」、「性自認」などの文言が入り差別はしてはならないと「知立市人権尊重のまち宣言」にありますが、その概念は曖昧であり、何が差別に当たるのか不明確のままでは、逆差別を生むことにもなります。　与党案の成立によって、体が男性の「トランス女性」が女性専用トイレを使うことを阻止できないなど、女性の権利が侵害される懸念があり、アメリカでは犯罪事例が起きています。　特に心配なのは学校教育への影響であり、小学校から同性愛を教え、性教育が過激化する事を懸念する声が出たためか、「学校の設置者の努力」の項目は削除されましたが、「事業主等の努力」の項目に「性的指向及び性同一性の多様性に関する当該学校の児童等の理解の増進に自ら務める」とあります。

[redacted]

要望項目

「知立市人権尊重のまち宣言」の文章から、「性的指向」、「性自認」の文言を削除して頂きたい。